



# 大暑



校長通信『道標(みちしるべ)』 第19号

令和3年7月20日

福岡県立若松商業高等学校 校長 谷川 陽一



## 二十四節気：7月22日大暑(たいしよ)

- \*夏の土用(どよう)もこの頃です。(昔は土を休めるため農業や建築工事などの休止期間としていた)
- \*夏の土用は丑(うし)の日(今年は7月28日)に、夏バテ防止のスタミナをつけるため「うなぎ」を食べる習慣があります。由来は江戸時代中期の学者：平賀源内(ひらがげんない)が奨励した説などが有力ですが諸説あります。
- \*打ち水…道路や庭に水をまいて土埃(つちほこり)を防ぎ温度を下げ、涼(りよう)を得たりするため昔から伝わる生活の知恵です。もとは神様が通る道を清めるためのものとのことです。



## 令和3年度 第1学期終業式 - 将来を見据えた教育活動 -

令和3年度、第1学期の終業式を迎えました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にともなう教育活動について、本県では5月12日から6月20日まで40日間の緊急事態宣言が発令され、その措置(そち)として飲食店への休業要請、商業施設の営業時間短縮や公共機関の休止など様々な対策がとられました。しかし、学校では昨年度の臨時休校を顧(かえり)み「**学びをとりもどす**」「**学びを止めない**」を念頭(ねんとう)に、生徒の皆さんの健やかな学びの保障と同時に感染症対策を講(こう)じました。学校教育が協働的な学び合いの中で行われる特質であることを踏まえ、文部科学省及び県教育委員会が策定したガイドラインに基づき、皆さんの学習の保証はもとより「心の成長」をめざし、若商ならではの学びを進め、大過(たいか)なく本日を迎えられたことを嬉しく思います。

さて、1学期は大幅に日程変更となった体育祭とその準備、期末考査、検定試験対策と受験、3年生は面接練習の開始など、同時に進行し乗り越えなければならない課題に直面したのではないのでしょうか。本校だけではなく、他の商業に関する学科を持つ学校も同様の試練(しれん)でありました。しかし、社会人となれば同時にたくさんの仕事を担当し、優先順位を定め、担当した業務を期日までに整えることが求められます。これはサービス業・製造業なども同じことです。同時に乗り越えなければならない課題への対応はうまくいかないこともあるでしょう。苦しいときもあったでしょう。『**艱難汝を玉にす(かんなんなんじをたまにす)**』試練を乗り越えることで人は大きく成長します。これらの教訓(きょうくん)を卒業後の長い人生に活かしてください。将来、悩みを持つ周りの人に対して、厳しくも温かみのある先生方の励ましを思い出しましょう。他者を支え、思いやることができる「**たのもしい大人**」に成長することを期待しています。若商では生徒の皆さんの「**今ではなく、将来を見据えた教育活動**」を行います。

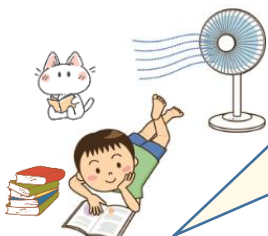
— 令和3年度 第1学期 終業式 校長式辞から —

## 夏休み「校長先生」おすすめの本 - 心の成長をめざして -

夏季休業中に様々な経験を通して、大きな成長をみせる生徒も少なくありません。特に「心の成長」は時間の使い方により何倍にもなります。その「心の成長」欠かせないものは読書であると言えます。歴史作家：司馬遼太郎は読書について『**私は少なくとも二千年以上の時間の中を生きているようなものだと思っている。この楽しさは、もし君たちさえそう望むならおすそ分けしてあげたいほどである**』と語っています。読書は他者や先人(せんじん)と対話できる素晴らしいものです。他者の人生をひも解くことにより自己の「心の成長」につながり未来への指針となります。夏休みは何となく過ごしているとあっという間に終わってしまうものです。皆さんの「心の成長」につながる有意義な時間として過ごすことを心から願っています。

### 校長先生 - 夏のおすすめの本 -

- ・短編集『**花杖記**』(かじょうき) 山本周五郎 著 **読みやすさ★★★★☆**  
「武道無門」…様々な個性の人がいるからこそ世の中は成り立っている「壺」…人の在り方・生き方について深く考えることができる
- ・短編集『**隠し剣孤影抄**』(かくしけんこえいしょう) 藤沢周平 著 **読みやすさ★★★★☆**  
『**隠し剣秋風抄**』(かくしけんしゅうふうしょう)  
「隠し剣鬼の爪」「武士の一分」「必死剣鳥刺し」など複数の映画の原作



\*本は図書館「校長先生おすすめの本コーナー」にあります。他にもおすすめの本が多数ありますよ。